様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

1 事業名	高齢者生活支援事業	コード	63101

2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	介護福祉課	作成者	吉田　和正

3 事業概要				
目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
	政　策	福祉の充実	施　策	高齢者福祉の推進
予算科目		高齢者生活支援事業費	業務委託	
実施義務			国県補助	
根拠法令				

●事業の内容（DO）

4 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		家に閉じこもりがちな高齢者の心身のリフレッシュを図るため、各地区公会所等を活用した健康講座や運動等を定期的に実施したり、該当年齢に到達した高齢者への祝賀品等を贈呈する。高齢者の係る団体（高齢者クラブ連合会・シルバー人材センター等）への活動支援。
目的	対象者	市内在住の概ね６０歳以上の高齢者（祝賀事業については実施内容参照）
	意　図	高齢者生活における生きがいづくりを支援し、元気高齢者の増進を図るとともに地域での繋がりを広げる。

5 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

○生きがいデイサービス事業
　地域の支え合いを基本とし、世代間交流、社会奉仕活動、スポーツ活動、健康等の教養講座、趣味活動などを実施。
・実施地区　　２０地区（２５ケ所）
・委託先　　岡谷市社会福祉協議会
・登録者　　５４１人
・実施場所　　各区公会所等
・実施回数　　１，４２９回　　・延べ参加者　　１０，２２０人

○敬老祝賀事業
　年齢該当者に、敬意を表し金品を贈呈
・祝金　　８８歳　　３，０００円贈呈　　３３４人
　　９９歳　　１０，０００円贈呈　　３７人
・祝品　　男女最高齢者にカタログギフト贈呈　　２人

○高齢者クラブ連合会　２０単位　会員数１，４０６人

前年度の課題への対応	各区・社協との連携を図りながら、事業の周知を行うとともに、運営する側となる地域ボランティアの育成や地域の自主性を促した。

6 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	生きがいデイサービス実施地区数			単位	地区
実績値	20	20	20		
＊指標の説明	生きがいデイサービスを実施している地区数				
② 成果指標（指標名）	生きがいデイサービス利用者数（登録者数）			単位	
目標値	620	600	550	550	
実績値	594	552			
達成度	95.8%	92.0%	0.0%		
＊指標の説明	市内全域での生きがいデイサービス利用登録者数				
＊目標値の設定方法の説明	予想グループ数×12				

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	24,735,832	24,432,451	26,816,000	21,872,000
経常経費	24,735,832	24,432,451	26,816,000	21,872,000
臨時的経費	0	0	0	0
＊臨時的経費の説明				

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
正規職員の人数（人）		1.00	1.00	1.00	1.00
③ 合計コスト（①＋②）		32,735,832	32,432,451	34,816,000	29,872,000
前年度比			99.1%	107.3%	85.8%
財源内訳	一般財源	28,170,832	27,589,451	30,138,000	0
	特定財源	4,565,000	4,843,000	4,678,000	29,872,000
＊特定財源の説明					
④ 活動一単位あたりコスト		1,636,792	1,621,623	1,740,800	
前年度比			99.1%	107.3%	
⑤ コストに関する補足説明					

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
長野県シルバー人材センター連合会参助会費	件数	1	1	1	1
	金額	16,000	17,000	17,000	18,000
岡谷下諏訪広域シルバー人材センター補助金	件数	1	1	1	1
	金額	10,920,000	10,920,000	11,171,000	13,411,000
高齢者クラブ連合会事業補助金	件数	1	1	1	1
	金額	1,066,000	1,120,000	1,120,000	1,120,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	12,002,000	12,057,000	12,308,000	14,549,000
	割合	48.52%	49.35%	45.90%	66.52%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　標準**

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。　成果指標の実績値　前年度比　0.0%		0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。　成果指標の目標値　達成度　0.0%		0

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） 新規登録者数より、退会等による利用取消者数が多くなり、グループの統合や活動休止のグループがある。また、運営する側の地域ボランティアの人数も減少傾向にある。	
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 新規登録者の確保に向け、社協・各区と協働しながら事業周知を行い、活動援助員・ボランティア養成に努めるとともに、総合事業に向けて生きがいデイサービスの方向性を検討する。	
	改善開始時期	随時

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	A